令和３年度　事業計画

自　令和３年 ４月　１日
至　令和４年 ３月３１日

●事業方針

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症予防により障害当事者と直接顔を合わせての地域生活支援をすることは難しく、また各種イベントの中止などによりボランティア活動の機会は激減し、事業実施は大変困難を伴う１年間でした。

令和３年度は、コロナ感染症防止に努めながらの新しい生活様式の中で、障害のある人たちへの支援を会員および関係者の皆様と、ともに作り上げていきたいと思います。

また、当協会は令和３年５月で設立４０周年を迎えます。コロナ禍の中ではありますが年間を通して、会員、関係者の皆様が参加できるように工夫した記念事業を実施します。併せて、平成から令和へ変わった今、ボランティア協会にとっての平成は何だったのか、これまでの活動を会員の皆さんと時間をかけて検証し、令和のボランティア協会のあるべき姿を模索する年にしたいと思います。

●事業計画

１．地域生活支援事業（公益目的事業１）

（１）社会参加支援事業

① 北九州市障害福祉情報センター事業（委託事業）

１）情報チラシ「いべんとアラカルト」の発行
２）情報誌「ひこうせん未来」の発行
３）ホームページでの情報発信
４）障害福祉に関する閲覧情報収集

② 障害者ボランティア活動参加促進事業（委託事業）

１）街のバリアフリー点検活動への参加支援
２）障害者スポーツボランティア活動への参加支援
３）障害福祉啓発活動への参加支援
４）団体活動への参加支援

★③防災の視点での地域生活支援事業

・モデル地区を設定して、地域の中で見守られた障害のある人の事例づくり
・地域内での防災関係検討会への参加・参画

（２）ＩＴを活用した支援事業

① パソコンサポーター養成・派遣事業（委託事業）

１）パソコンサポーター養成講座
２）パソコンサポーターフォローアップ研修会
３）パソコンサポーター派遣
★４）オンラインの活用支援講座（障害当事者対象）
★５）オンラインでのサポート支援
★６）北九州市障害者ＩＴサポートセンター開設に向けての課題検討会
★７）社会参加としてのｅスポーツ活用に向けての課題検討会

② ホームページによる情報提供
１）会報「でんしょ鳩」データ版情報の提供
２）相談紹介事業のボランティア活動情報の提供

（３）ボランティア活動推進事業
① コーディネート事業
１）相談およびコーディネーション

② 研修事業
１）ボランティア講座
２）みんなの研修会

③ 交流事業
★１）オンライン交流会

④活動参加推進事業
１）国際車いすバスケットボール大会会場運営(委託事業)
２）障害児の長期休暇対策事業（委託事業）
★オンラインでイベント開催
★バリアフリー映画上映（聴覚障害児・視覚障害児も対象）

２．社会開発創造事業（公益目的事業２）

（１）障害福祉普及啓発事業
①会報「でんしょ鳩」の発行
１）福祉情報の提供として、年４回、１，５００部発行

②講師の出前事業
１）団体、企業に障害福祉啓発事業として講師を派遣

（２）社会提言事業
① ユニバーサルデザイン社会の普遍化の促進
★１）障害者の「移動保障」についての、課題の整理と解決策の提言
・交通手段に関する課題の整理
・ひまわりサービス事業（社会福祉協議会）検討会への参加
・福祉有償運送事業の課題検討会への参加
・移動問題に関する連絡会開催への働きかけ

（３）ネットワーク促進事業
① 福祉のまちづくりネットワークの運営
１）誰もが住みよい福祉のまちづくりへ向けた取り組みのため事務局を担当

② 北九州市障害福祉団体連絡協議会の運営
１）障害福祉の啓発および差別解消に向けての取り組みのため事務局を担当

③ 障害者の余暇支援者連絡会の運営

１）障害のある人の余暇支援の取り組みのため事務局を担当

３．組織基盤事業

（１）組織運営

1)定期総会　　１回（５月）

2)理事会　　４回（４月・５月・１０月・３月）

3)広報戦略会議　隔月（でんしょ鳩発行後）

4)常任委員会　　隔月

（２）中長期計画の具現化

1)中長期計画１０年目の取り組み

★１０年間の検証

（３）★設立４０周年記念事業（案）

1)障害福祉およびボランティア活動に対する関係者ニーズ調査

2)役員・常任委員・会員による座談会

「これからの障害福祉とボランティア協会の方向性について」

3)記念誌の発行

4)記念事業としての「みんなの研修会（会員研修会)」

5)記念式典の開催「記念講演・表彰等」(令和４年度総会時)

※実施の際にはプロジェクトチーム制や実行委員会制を取り入れる。

（４）総務

1)法人の事業概要「はばたき」の発行

2)共催・後援・協力事業・出席・派遣・参加等

★印は重点事業・新規事業